



尼崎市自転車のまちづくり推進計画

～自転車の活用により、にぎわい、健康で環境にやさしいまちを目指して～
令和3年度から令和7年度まで



平成30年3月策定
(令和3年3月改定)
尼崎市

1 はじめに

1-1 本計画の趣旨

平成30年3月、尼崎市自転車のまちづくり推進条例に基づき、各種自転車関連施策を総合的かつ計画的に実施するため、「尼崎市自転車のまちづくり推進計画」を策定しました。

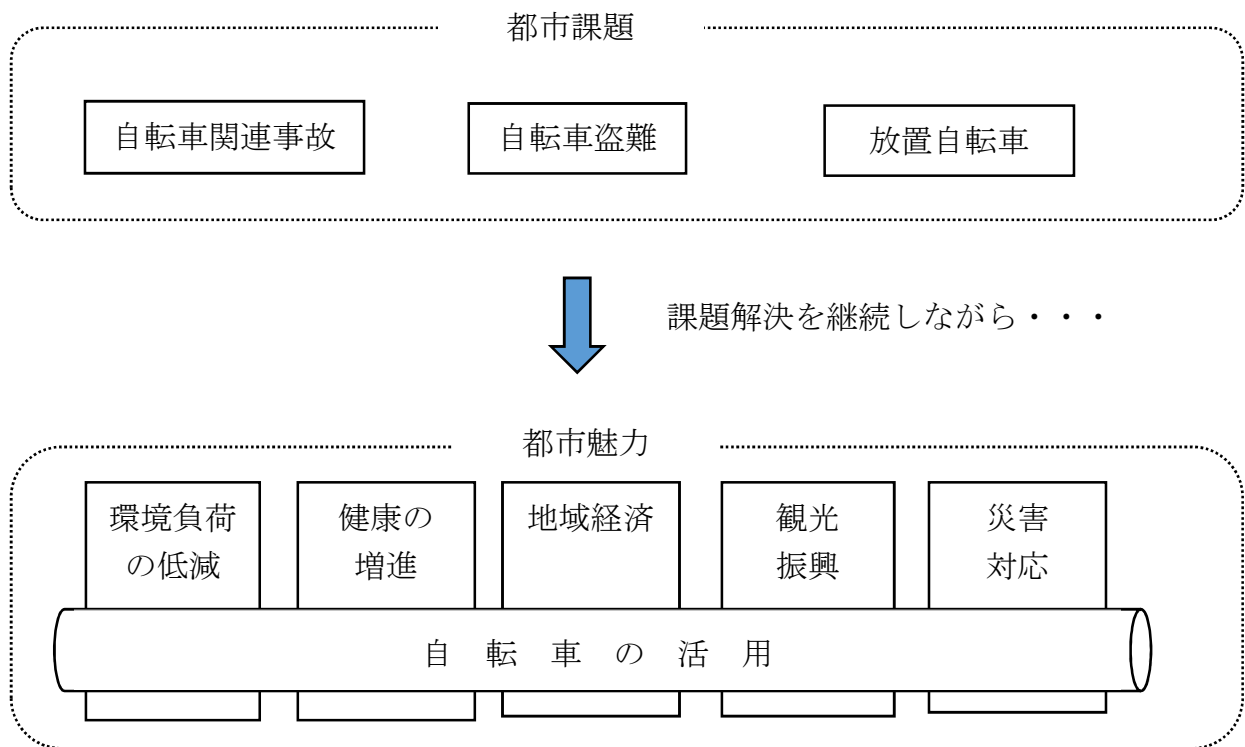
その後、平成30年6月には国において「自転車活用推進計画」が、令和2年3月には兵庫県において「兵庫県自転車活用推進計画」が策定されたことを受け、これら国や県の計画を踏まえ、本市の実情に応じた新たな視点を加えています。

1-2 本計画の位置づけ

尼崎市自転車のまちづくり推進条例第7条第1項及び自転車活用推進法第11条第1項に基づく市町村自転車活用推進計画です。「尼崎市自転車ネットワーク整備方針」などの個別計画も構成要素として設定している本市における自転車関連の最上位の計画です。

1-3 尼崎市における自転車のまちづくり（課題から魅力へのギアチェンジ）

本市における自転車の位置づけを「都市課題（事故・盗難・放置）」から「都市魅力（環境・健康・地域経済・観光・防災）」へ転換し、自転車の活用により、にぎわい、健康で環境にやさしいまち“あまがさき”を目指します。



1-4 計画のフォローアップ

本計画に基づく施策の実施状況については、本市職員で構成する「尼崎市自転車のまちづくり推進庁内連携会議」で進捗管理するとともに、尼崎市自転車のまちづくり推進条例第7条第5項に基づき、毎年度1回以上学識経験者等の意見を聴き、必要に応じて計画の改定を行うこととします。

2 各分野の取組

2-1 自転車関連事故防止（課題1）

ア 重点地区（※1）における対応

市職員による「尼崎市自転車のまちづくり推進条例」を根拠とした街頭指導を中心としたモデル施策を、毎年選定する重点地区において展開します。また、より減少させるためには、自転車関連事故の相手方の約85%を占めるクルマ・バイクに対しても啓発・指導等を行う必要があると考えています。

なお、これらを全市域に展開するため、地域で活動する市民や団体・事業者等との連携を図ります。

イ 全市的な対応

自転車交通安全教育については、引き続き、小・中学校におけるルール・マナー習熟度テスト、小学校における児童が自ら考え主体的に取り組める手法を実施します。また、これまで、主に対象としてきた小・中学生、高校生、高齢者に加え、就業世代のうち小学校の保護者を対象に、大人と子どもがいっしょに受講できる手法も展開します。

さらに、スマートフォンを操作しながら自転車に乗る「ながら運転」などについて、啓発や市職員による街頭指導を引き続き行っていきます。

※1：幹線道路ではなく生活道路における対クルマの事故認知件数が最も多い小学校区

【活動指標】

- ・重点地区での自転車適正利用指導回数（H30：－：R1：43回、R2：46回）（※2）
- ・自転車交通安全教室の実施回数（H30：66回、R1：85回、R2：40回）（※2）
- ・市内高等学校での自転車交通安全教室受講生徒数（H30：1,729人、R1：1,717人、R2：1,484人）

【成果指標】

自転車関連人身事故認知件数 **404件（R7目標）**（※2） H30：924件、R1：785件、R2：512件

※2：1～12月までの暦年

コラム1 尼崎市における自転車関連事故の実態

尼崎市では、自転車関連事故の相手方の約85%をクルマ・バイクが占める傾向が長く続いています。クルマやバイクを運転する時は、自転車に配慮した安全な行動をお願いします。

相手方 \ 年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
クルマ・バイク	700件（83.3%）	779件（84.3%）	671件（85.5%）	453件（88.5%）
自転車	51件（6.1%）	68件（7.4%）	54件（6.9%）	26件（5.1%）
単独	61件（7.3%）	47件（5.1%）	33件（4.2%）	19件（3.7%）
歩行者	28件（3.3%）	30件（3.2%）	27件（3.4%）	14件（2.7%）
合計	840件	924件	785件	512件

（参考）尼崎市域における、自転車関連事故の相手方別内訳

2-2 自転車盗難防止（課題2）

平成29年度から、「尼崎市自転車のまちづくり推進条例」に基づき、自転車利用者に対して、鍵をかけるなどの対策を行うよう、指導を行っています。

さらに、平成29年度に社会実験を行い、平成30年度から本格導入している「Alarmmy.」(※3)を中心に、引き続き、客観的なデータを活用し、より効果的に自転車盗難防止に取り組みます。

※3：アラームとダミーからの造語で、アラミーと読みます。振動を感知すると警報が鳴る南京錠型セキュリティロックを自転車に装備し、ダミーとして市内複数箇所に配置する手法。

【活動指標】

アラミー配置箇所数（H30：4か所、R1：8か所、R2：3か所）(※2)

【成果指標】

自転車盗難認知件数 **997件（R7目標）** (※2) H30：1,729件、R1：1,503件、R2：1,233件

※2：1～12月までの暦年



写真1 アラミーの南京錠型セキュリティロック



写真2 アラミー配置

2-3 放置自転車対策（課題3）

令和元年度から適用している商業地域、近隣商業地域や共同住宅における駐輪場の新たな設置基準の周知等に努め、駐輪問題の解消に取り組んでいきます。

【活動指標】

放置自転車撤去台数（H30：6,409台、R1：5,220台）

【成果指標】

- ・市内全駅の駅前の放置自転車台数 **82台（R7目標）** H30：257台、R1：158台、R2：131台
- ・駐輪場区画不足解消共同住宅数 **2戸（R7目標）** H30：－、R1：0戸

2-4 環境負荷低減への活用（活用1）

日常生活に起因する環境負荷を軽減していくため、自転車を持つ二酸化炭素を排出しない移動手段であるという環境面での機能（メリット）についての知識を深めてもらい、エコライフ推進の一環として、自動車から自転車や徒歩への転換を推進します。

【活動指標】

自転車利用についての広報回数（H30：2回、R1：3回）

【成果指標】

二酸化炭素排出量（運輸部門）**38.2万t（R7目標）** H30：39.9万t



写真3 尼崎市エコ通勤セミナーの様子

2-5 健康増進への活用（活用2）

自転車を持つ健康面での機能（メリット）はもちろん、スポーツジムなどに通うことが難しい方でも、手軽に適度な運動ができ、生活習慣病などの予防につなげられることについての知識を深めてもらう取組を総合的に推進します。

【活動指標】

年間を通して健康行動を起こした人数（H30：－、R1：－）

【成果指標】

健康寿命 **男 80.2歳、女 85.4歳（R7目標）**

H30：男 78.4歳、女 83.5歳



出典：健康づくりのための運動指針2006 厚生労働省

(参考) 宇都宮市自転車活用推進計画（抜粋）

2-6 地域経済への活用（活用3）

自転車で近くのお店を訪れてこまめに新鮮な食材を購入することは暮らしの豊かさにつながります。そのため、多くの方が利用される商店街において快適に買い物ができるよう、商店街での自転車ルールの遵守やマナー向上などを図り、自転車を利用した買い物を、より便利に、より魅力的に楽しめる取組を推進します。

【活動指標】

- ・マナー啓発パトロール参加人数（H30：10人、R1：42人）
- ・自転車誘客イベント（共催等含む）開催回数（H30：－、R1：－）

【成果指標】

市内で便利で魅力的な買い物が出来ていると思う市民の割合 **90%**（R7目標）

H30：84.2%、R1：87.2%



写真4 尼崎市コスプレ自転車交通安全パレード&撮影ツアーの様子

2-7 観光振興への活用（活用4）

「尼崎版観光地域づくり推進指針」や「重点取組地域における尼崎版観光地域づくり戦略」に基づき、引き続き尼崎城を中心とした城内まちづくりをはじめとする観光施策に取り組む中で、自転車での移動に適した市内周遊コースの紹介などを行います。

また、これら観光施策の展開や地域経済の活性化等にも活用が期待されるコミュニティサイクルの継続・発展に向けた取組を推進します。

【活動指標】

- ・観光スポット等のコミュニティサイクルポート利用者数（H30：－、R1：184人）
- ・尼崎市リンリンステーション（※7）の設置数（H30：5か所、R1：5か所）

【成果指標】

市内の観光客入込客数 **280.0万人**（R4目標）（※8）

H30：242.5万人、R1：259.7万人

※7：無料で空気入れを利用できるスポット

※8：観光地域づくり戦略で新たな目標値を設置後、令和7年度目標に差し替える



写真5 尼崎市リンリンステーション（市立田能資料館）



写真6 コミュニティサイクルポート（尼崎城）

2-8 災害対応への活用（活用5）

災害対応での、自転車の活用の実施に努めます。例えば、次のような活用があると考えています。

①公共交通が不通になった場合の参集手段としての活用

本市職員は、災害により普段使用している通勤手段の利用が難しい場合であっても、迅速に参集することとしています。このことから、本市職員に対し、参集経路の確認も含め災害時における参集手段としての自転車の活用を推進します。

②道路その他の被災状況の把握手段としての活用

コミュニティサイクルや公用自転車などの、災害時における現地調査等への活用に努めます。

【活動指標】

職員向け災害関係研修等での周知回数（H30：－、R1：－）

【成果指標】

災害時における現地調査等への活用状況



写真7 コミュニティサイクルポート（市役所本庁舎）



2-9 自転車の走行環境整備

自転車ネットワークとして、①駅を中心とした拠点間を結ぶネットワーク形成、②自転車で安全・安心・快適に利用できる自転車道として河川に沿った走行空間を軸としたネットワーク形成の考え方を基に選定した道路については、既存の道路空間を再配分し、整備を進めます。その他、駅や公共施設など拠点周辺の細街路についても、自転車ネットワークの整備効果を高めるために、整備を進めます。

【活動指標】

1年間の整備延長キロ数 (H30 : 6.0km、R1 : 4.4km、R2 : 1.5km) (国道、県道部分含む)

【成果指標】

総整備延長キロ数 **41.8km (R7目標)** H30 : 14.2km、R1 : 18.6km、R2 : 20.1km



写真8 近松線 (自転車道)



写真9 西川線 (自転車レーン)



写真10 新幹線側道 (矢羽根)



写真11 竹谷小学校区内交差点
(自転車とまれマーク)

尼崎市自転車ネットワーク整備方針

尼崎市の自転車走行空間整備箇所

整備箇所図
(R3.3月末時点)



	凡例	線種	計画延長			
			市道	県道	国道	計
ネットワーク 路線	自転車道		1,600	4,190	0	5,790
	自転車レーン		15,020	3,890	6,100	25,010
	車道混在		6,060	510	0	6,570
	計		22,680	8,590	6,100	37,370
ネットワーク 補完路線	自転車歩行者道等		18,400	25,130	4,300	47,830
	計		18,400	25,130	4,300	47,830
	その他歩道等					
総計			41,080	33,720	10,400	85,200
その他	サイクリングコース					

※ : 整備済み : 計画

※整備手法や対象区間は現段階の協議会の案であり、整備の実施
に関しては、詳細検討等において変更となる場合があります。

コラム2 (クイズ) 自転車が走行できる場所、徐行する場所、ご存知ですか？

カラフルに塗られた路面を見かけることも増えてきました。ところで、皆さん、自転車が通れる場所か通れない場所か、すぐにわかりますでしょうか。

通れる場所でも、走って通れる場所か、徐行でしか通れない場所か、押し歩きしないと通れない場所か違いは判りますでしょうか。



写真8 (再掲) 近松線 (自転車道)



写真9 (再掲) 西川線 (自転車レーン)



写真10 (再掲) 新幹線側道 (矢羽根)



写真12 アマゴッタ付近 (自転車歩行者道)



写真13 中央商店街 (歩行者専用道路)

(答え) 写真12の場所は徐行でしか通れず、写真13の場所は押し歩きしないと通れません。

3 共通取組方針～施策の推進に向けて～

各分野の施策の推進にあたっては、以下の3つの方針に沿って行うものとしています。

(1) 重点的かつ効果的な事業推進

各分野の様々な取組については、本市の自転車のまちづくりに関する周知・広報などは全市的に取り組む一方、例えば、自転車事故や盗難の防止についてはそれぞれの多発エリアで、地域経済の活性化の事業は商業地域を中心にそれぞれ行うなど、地域ごとの特色を踏まえ、重点地区を設定し、効果的な展開を狙います。



写真 14 自転車事故防止の取組
(交通安全指導)



写真 2 (再掲) 自転車盗難防止の取組
(アラーム)

(2) 協働による取組

各分野の様々な取組については、地域で活動する市民や団体・事業者等の人的資源とも連携し、それぞれの強みを活かして協働で行い、シビックプライドを醸成します。

平成30年度からは、自転車のまちづくりに協力していただいている、または自主的に自転車のまちづくりを推進している方々を「グッと！尼っ子リンリンサポーター」として認定しています。

(参考) グッと！尼っ子リンリンサポーター一覧

企業・団体又は氏名	取組の概要	認証分野
ちゃりんこ来恋大作戦実行委員会	商店街内の押しチャリを推進するイベント等の実施	事故の防止、楽しみの周知
ロンロン	環境保護と交通安全に留意した宅配弁当の配達	事故の防止、環境負荷の低減
日本製鉄(株)関西製鉄所尼崎地区	自転車検定制度の導入及び普及促進	事故の防止
日鉄ビジネスサービス関西(株)尼崎支店	自転車検定制度の導入及び普及促進	事故の防止
(株)大阪チタニウムテクノロジーズ	自転車モデルライダー検定制度導入	事故の防止
NPO法人つなげる	多様な自転車で街シェアサイクル等	事故の防止、環境負荷の低減、楽しみの周知等
(株)ふたごじてんしゃ	「自転車街づくりを進める尼崎」をPR等	事故の防止、環境負荷の低減、健康増進、楽しみを広める取組等
国際航業(株)	自転車マナーポイントアプリケーションの開発・普及	事故の防止
武庫之荘水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会	自転車事故・放置自転車・自転車盗難の防止への啓発活動と環境づくり	事故の防止、迷惑駐輪の防止、盗難の防止、環境負荷の低減、健康増進等

(3) 積極的な情報発信

様々な分野にまたがる尼崎市における自転車のまちづくりについて、市民等がワンストップで情報を取得できるよう、新たに、自転車総合ポータルサイト「尼っ子リンリン」を開設しています。

このサイトでは、引き続き、自転車ルール・チャレンジテスト、駐輪場の場所や営業時間の紹介、コミュニティサイクル、サイクリングマップ、まちの自転車屋さんとの紹介といった情報を発信していきます。



写真 15 「尼っ子リンリン～尼崎市自転車総合ポータルサイト～」トップページ

【活動指標】

ポータルサイトの新規ユーザー数 (H30 : 7,385 人、R1 : 9,582 人)

【成果指標】

安全に、安心して、快適に自転車を利用できていると感じる市民の割合 **77.0%** (R7 目標)

H30 : 41.2%、R1 : 38.1%



施策及び指標一覧

取組項目	具体的な取組 (⇒取組の観点)	活動指標	成果指標	所管局
自転車事故の防止 (課題1)	<ul style="list-style-type: none"> ・条例に基づく指導等 (⇒加害阻止) ・教育、啓発、条例に基づく指導等 (⇒被害予防) 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点地区での自転車適正利用指導回数 ・自転車交通安全教室の実施回数 	自転車関連人身事故認知件数 404件 (R7目標) R2実績：512件	危機管理安全局 教育委員会事務局
		市内高等学校での自転車交通安全教室受講生徒数		
自転車盗難の防止 (課題2)	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ等 (⇒加害阻止) ・条例に基づく指導、啓発、防犯マップ等 (⇒被害予防) 	アラームの配置箇所数	自転車盗難認知件数 997件 (R7目標) R2実績：1,233件	危機管理安全局
放置自転車の防止 (課題3)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場マップ作成、啓発、指導、撤去 (⇒加害阻止) ・駐輪場整備 (⇒スペース確保) 	放置自転車撤去台数	市内全駅の駅前の放置自転車台数 82台 (R7目標) R2実績：131台	都市整備局
		—	駐輪場区画不足解消共同住宅数 2戸 (R7目標) R1実績：0戸	
環境負荷低減への活用 (活用1)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用の推進等 (⇒自動車等からの乗り換え) 	自転車利用についての広報回数	二酸化炭素排出量(運輸部門) 38.2万t (R7目標) H30実績：39.9万t	経済環境局
健康増進への活用 (活用2)	年間を通じた健康行動の推進に向けたインセンティブ事業の実施(⇒健康行動の変容)	年間を通して健康行動を起こした人数	健康寿命 男 80.2歳、女 85.4歳 (R7目標) H30実績：男 78.4歳、女 83.5歳	健康福祉局

取組項目	具体的な取組 (⇒取組の観点)	活動指標	成果指標	所管局
地域経済への活用 (活用3)	・マナー啓発、商店街への誘客 (⇒にぎわいづくり)	・マナー啓発パトロール参加人数 ・自転車誘客イベント(共催等含む)開催回数	市内で便利で魅力的な買い物が出来ていると思う市民の割合 90% (R7 目標) R1 実績: 87.2%	経済環境局
観光振興への活用 (活用4)	・尼崎城を中心とした城内まちづくりをはじめとする観光施策 (⇒魅力創造)	観光スポット等のコミュニティサイクルポート利用者数	市内の観光客入込客数 280.0 万人 (R4 目標) R1 実績: 259.7 万人	経済環境局 危機管理安全局
	・案内板設置、休憩スポットの設置 (⇒環境の整備)	尼崎市リンリンステーションの設置数		
災害対応への活用 (活用5)	・公共交通が不通になった場合の参集手段としての活用 (⇒速やかな災害対応) ・道路その他の被災状況の把握時の移動手手段としての活用 (⇒速やかな災害対応)	職員向け災害関係研修等での周知回数	災害時における現地調査等への活用状況	危機管理安全局
自転車走行空間の整備等	・レーン整備等 (⇒自転車ネットワーク形成の推進)	1年間の整備延長キロ数	整備延長キロ数 41.8 km (R7 目標) R2 実績: 20.1km(国道、県道部分含む)	都市整備局
共通取組	・重点的かつ効果的な事業推進 ・協働による取組 ・積極的な情報発信	ポータルサイトの新規ユーザー数	安全に、安心して、快適に自転車を利用できていると感じる市民の割合 77.0% (R7 目標) R1 実績: 38.1%	危機管理安全局 健康福祉局 都市整備局 経済環境局 教育委員会事務局